

布と號す、幾許の年を重ぬ共濕ることなく、用ゆる時は熱湯をかくれば、忽ち和かになり、色よく味かはらす美也、福良の浦人多く製して名物とす、

〔狗狽集春〕若和布

汁の子もうみ出てよきわかめかな

かづきするあまの姿も若めかな

〔令義解賦三〕凡調略○中 正丁一人、絹絶八尺五寸略○中 若輸雜物者略○中 海藻根八斗、

〔延喜式二〕十三 交易雜物

伊勢國中略海藻根

參河國中略海藻根

遠江國中略海藻根

出雲國中略海藻根

石見國中略

海藻根十斤○中略

紀伊國中略海藻根

阿波國中略海藻根

伊豫國中略海藻根

右以正稅交易進、其

運功食並用正稅、

〔延喜式主計〕二十四 凡諸國輸調略○中 一丁略○中 紫菜、海藻根各十六斤、

凡中男一人輸作物略○中 海藻根四斤、

〔延喜式大膳〕三十三 仁王經齋會供養料

僧一口別略○中 海藻根一兩三分略○中 右一日供料、依前件

〔延喜式內膳〕三十九 年料

伯耆國中略海藻根一右諸國所貢、並依前件、仍收贄殿擬供御、

〔庭訓往來〕被仰下之旨、畏拜見仕候畢、略○中 醍醐烏頭布、

〔庭訓往來〕諸抄大成、烏頭布 黑和布なり

〔庭訓往來〕諸抄大成扶翼、貞伊勢云、十月の狀にも、昆布、烏頭布、荒布と見えたり、然れば、烏頭布

は海草なり、醍醐は山にて海なければ、海草の生すべき理なし、然れども、烏頭布を他所より求

海藻根

烏頭布